

## メディカル・スタッフのためのポストコンGRESS・セミナー

### 「レビュー：神経筋疾患による嚥下障害の特徴と対策」

日時 平成25年3月2日土曜日 16:00～18:00

参加費 学会参加者 1,000円、学会非参加者 3,000円

嚥下障害の原因疾患の割合は、脳梗塞・脳出血等の脳血管障害が全体約55%を占め、神経筋疾患（神経難病）であるパーキンソン病4.9%、アルツハイマー病2.6%、脊髄小脳変性症2.0%、ALS1.1%となっており、神経内科疾患が全体の約7割を占めています。このうち神経難病は比較的まれな疾患ですが嚥下障害を合併する率が高く、皆様の日常臨床でもよく経験されることと思います。また、今後の高齢化と共にさらにその頻度が大きくなることが予想されます。嚥下障害の治療・リハビリテーションを考える上で、医師のみならず医療スタッフにとっても神経難病についての知識が必要となっています。

神経難病は「難病」という字が示すように、一見難しく理解しがたいという印象を受けてしまいがちですが、神経系の基本をつかんでおけば理解が進みます。本セミナーでは、医療スタッフ、他科診療科医師、歯科医師を対象として、代表的な神経難病の「わかりやすい」解説とその嚥下障害の特徴・対策について、神経内科専門医がレビューします。本セミナーを修了されますと、神経難病が一通り理解でき、皆様の明日からの業務に役立つことと思います。

コーディネーター

埼玉県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科 (ST) 清水充子

京都府立医科大学 総合医療学 山脇正永

内容

- 1) 認知症 京都府立医科大学 総合医療学 山脇正永
- 2) パーキンソン病、パーキンソン症候群 兵庫医療大学 リハビリテーション学部 野崎園子
- 3) 運動ニューロン疾患 京都第一赤十字病院 神経内科 巨島文子
- 4) 小脳変性症、多系統萎縮症 慈恵医科大学 神経内科 谷口 洋
- 5) 筋疾患 国立精神・神経センター病院 神経内科 山本敏之